

平成 27 年度 第 2 回（相談支援）分科会報告書

1. 開催日時：平成 27 年 8 月 20 日（木）13：00～17：00

2. 開催場所：八女市社会福祉協議会 3 階大会議室

3. 参加者（所属のみ）

陽だまりの里、相談支援センターほっぷ、蓮の実団地よろず屋、ゆうゆう、相談事業所のぞみ、蓮の実園ゆるっと、ホームヘルプ金太郎、相談事業所ねんりん、サングリーン相談支援センター、広川町、八女市、リーベル、（社会福祉援助技術現場実習生）

4. 実施内容

○講演：『障がい者の想いを聴く ～面接演習』

講師：八女地区障害者基幹相談支援センターリーベル 田島ゆかり 氏

①ケアマネジメントの発想 ～想いから始まる

・利用者中心、その人の想いを受け止める。

・自己決定、自分で決める経験がない人もいる。そのような人にもわかりやすく説明をして、“自分で決める”ということを理解してもらう。

・その人らしい生活を実現する。

・インテークの重要性。これからこの人に相談していこう、と相手を感じるように、当事者と向き合ってその想いを受け止めていく。

・公的サービス以外にも目を向けてみる。隣近所の方などの身近にいて普段接していたいている方々は、当事者からしっかりと話を聞いて計画におとす。

②「想いのマップ」とは

・今の暮らし（どんな気持ちで暮らしているか）、抱えている課題、望んでいる暮らし。

・当事者が持っているストレングスに着目。



③想いを引き出す面接とは。

・本人が落ち着く場所で、リラックスして話せる雰囲気を作る。

・あなたの話を聞いていますよという姿勢で、相手が言ったことの確認をしながら進めていく。

・相手が答えを出すまで待つ時間も大切。待つて話が出なかったら、聞き方を変える。

○面接演習

- ・当事者の方(K氏)に参加いただき、面接演習を行う。
- ・各6名の2グループに分かれ、順番で1人ずつ当事者の方に面接を行う。
 - －1人あたりの面接時間は5分。
 - －面接終了後、別グループの1人が面接者に対してコメント、感想を述べる。
- －面接は前者の話と繋がりがある内容から始める。



○想いのマップ作成

- ・各グループ、面接で聴き取った内容を基に想いのマップ作成。
- ・マップ作成中も面接では聴き取れなかったことを随時、当事者の方に聴きながらマップ作成を進める

○想いのマップをグループごとに当事者の方へプレゼン

- ・当事者K氏
 - －どちらのマップもよかったとの感想。
- ・K氏の計画担当者、ゆうゆう宇佐原氏
 - －今回の面接でご本人が将来の心配をしていること等を聞き取ることができ、これからの関わりの中で一緒に考えたい。

